

今月のトピックス

簡単な操作で窓の開け閉めができるパワーウィンドウですが、子どもが指や首を挟まれ重傷を負う事故が起きています。

窓が閉まる際、異物が挟まったときに、パワーウィンドウが反転する「挟み込み防止機能(自動反転機能)」については全席に装備されていない場合も多く、機能の動作が確実でない車種もありますので、以下の点を参考にパワーウィンドウの取扱いには十分に注意してください。

詳細な情報は、国民生活センターのホームページをご覧ください。
(http://www.kokusen.go.jp/test/data/s_test/n-20100721_1.html)

◆事故防止のために

- (1) パワーウィンドウの操作は、必ず安全確認をしてから行う
- (2) 低年齢の子どもには、パワーウィンドウを操作させないこと。また、子どもが同乗する際は、パワーウィンドウのロックスイッチを活用する
- (3) パワーウィンドウの操作によっては、挟み込み防止機能が働かない場合もあるので、取扱説明書で操作をよく理解しておく
- (4) 購入の際は、全席に挟み込み防止機能の装備があるかも検討する。

◇平成22年6月の重大製品事故公表情報(消費者庁) [単位:件 ()内は長野県内での発生件数]

ガス機器・石油機器に関する事故	ガス機器・石油機器以外の製品に関する製品起因が疑われる事故				その他の主な製品の内訳	
	ブラウン管テレビ	照明器具	その他			
17 (1)	18	3	2	13	・電気冷蔵庫 ・電気こんろ ・生ごみ処理機 ・IH調理器 ・電気こたつ ・自転車	・ノートパソコン ・コンセント付洗面台 ・電動アシスト自転車 ・車いす ・デスクトップパソコン ・携帯電話 ほか

※ 詳細な情報は、消費者庁のホームページをご覧ください。
(<http://www.caa.go.jp/safety/index.html>)

ゼリー状着火剤の継ぎ足しによる事故ご注意ください!

キャンプやバーベキューの火起こしに便利な着火剤ですが、やけどなどの事故が発生しています。炭などに一度火をつけたにも関わらず、「火力が弱い」、「早く調理したい」などの理由から着火剤を継ぎ足したり、明るい屋外では炎が見えにくいために「まだ燃えていない」と勘違いして継ぎ足す事はありませんか。燃えた着火剤が飛び散ったり、揮発した着火剤に引火し、着ているものに燃え移る危険性がありますので、一度火をつけたら、着火剤の継ぎ足しは絶対に行わないようにしてください。また、近くに水を汲んだバケツや湿らせた布を用意しておきましょう。

着火剤は使い方によっては危険であることを知っておき、特に子どもに使わせないことはもちろん、絶対に子どもの近くでは使用しないようにしましょう。

【発行】長野県 企画部 消費生活室
 電話:026-223-6770
 ホームページ: <http://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/seikatsu/jyouhou/index.htm>